

一般質問

市民クラブ

パートナーシップ制度の導入

問 性的少数者の権利を保障するため、長崎市においてもパートナーシップ制度を導入すべきではないか。

答 性的少数者の生きづらさを解消していくためには、一人ひとりの個性や違いを認め合い、正しい理解と認識を持ち、お互いの生き方、考え方を柔軟に認め合う態度を育てる人権教育・啓発が必要と考えている。

自治体が同性カップルなどをパートナーとして公的に認めるパートナーシップ制度については、当事者の方々の生きづらさを解消する有効な方法の一つであると考えている。

他都市では既に導入されているところがあるが、どういった方法が長崎市にとって一番よいのかという点も含め、早期導入に向けて検討していきたい。

性的少数者：女性同性愛者、男性同性愛者、両性愛者、トランスジェンダー（性同一性障害など）をはじめとする、性のあり方が多数派と異なる人。

小中学生の学力向上の取り組み

問 学力向上に向けた家庭学習のあり方や地域等と一緒にした取り組みについての考えを伺いたい。

答 各学校では学力調査の結果をもとに学力向上プランを作成し、授業の改善や家庭学習の習慣化と内容の充実に取り組んでいる。その中で、学年に応じた時間の目安や取り組むべき内容等を示した「家庭学習の手引」を作成・配布し、家庭への協力をお願いしている。さらに、全小中学校で放課後の学習支援として「長崎寺子屋事業」を実施しており、学校サポーターとして登録している大学生や保護者など、地域の皆様のご協力もいただいている。

今後も学力向上のため、地域の皆様のお力をおかりしながら、学校・家庭・地域が丸となった継続的な取り組みの推進に努めたい。

長崎駅周辺のまちづくりの方向性

問 長崎駅周辺では各種事業が進められているが、MICE施設整備よりも交通結節機能や浸水対策などの安全性を重視したまちづくりに取り組むべきではないか。

答 交流拠点施設など都市の活性化に向けて必要な市街地開発は滞りなく実施することが重要であり、現在の周辺道路の交通処理能力との整合を図りな

がら進めていく必要があると考えている。

市街地の開発と円滑な道路交通を両立させていくためには、道路管理者や警察など、関係機関と協議を重ねながら事業を進めていく必要がある。長崎市としても、駅周辺の安全性、交通結節機能の向上に取り組むとともに、各種事業が円滑に進むように、関係機関と協議・調整に取り組んでいきたい。

明政クラブ

琴海地域センターの位置

問 十分な説明がないまま琴海村松町に地域センターを設置したことについて、地域住民は強い不満を持っているが、この実態をどのように検証しているのか。

答 琴海地域センターの位置については、琴海の南部地区が地区内の人口の57%を占めることや、駐車スペース・立地の利便性を踏まえ、琴海村松町に設置した。また、長浦町には事務所を設置している。

琴海地区では今回の再編成について計5回の地域説明を行い、説明会における意見を踏まえ、北部地区の琴海形上町に身近な証明書の交付等ができる連絡員事務所を開設し、交通の便や高齢化を考えると近くで手続きができるようにしてほしいとの不安の解消に努

めたところである。

しかしながら、事前説明が十分でないとの意見もあることから、今後さまざま機会を捉え、改めて説明したい。



▲琴海地域センター

主要地方道野母崎宿線の早期改良

問 現在の工事の進捗を伺いたい。また、工事の早期完成には地籍調査が必要と考えるが、見解を伺いたい。

答 主要地方道野母崎宿線については、長崎県により順次整備が進められ、平成29年2月に茂木町の立石トンネルを含む約1.4キロメートルの区間が完成した。今年度は、千々町や飯香浦町において、昨年度に引き続き整備が進められ、大崎町、為石町、脇岬町の3つの区間においても用地補償や測量設計等が実施されることになっている。

また、この路線の沿線における地籍調査については、千々工区の一部で実施し、平成29年度に完了している。

今後、道路整備に支障を来さないよう地籍調査が必要な範囲に絞って先行して実施するなど、進め方について長崎県と協議を行い、協力して取り組んでいきたい。